

## 総合体育館の現状と課題について

### 1 総合体育館の現状

#### (1) 現在の総合体育館の施設概況

現在の総合体育館の施設内容は以下のとおりです。

①所在地 練馬区谷原一丁目7番5号



②敷地面積 約 16,443 m<sup>2</sup>

③建築面積 約 3,652 m<sup>2</sup>

④延床面積 約 6,003 m<sup>2</sup>

⑤用途地域別の法規制

	目白通り沿い	主な部分	東側
用途地域	準住居地域	第一種住居地域	第一種低層住居 専用地域
建ぺい率	60%	60%	50%
容積率	300%	200%	100%
高度地区 (高さ制限)	第3種高度地区 30m	第2種高度地区 17m	第1種高度地区 10m

⑥施設概要

諸室	面積	概要
1. 競技場	1,404 m <sup>2</sup>	バレー・バスケット 2 面、バドミントン 8 面、卓球台 21 台、観客席(392 席)
2. 会議室	68 m <sup>2</sup>	定員 45 名
3. 卓球場	313 m <sup>2</sup>	卓球台 10 台
4. 第 1・2 トレーニング室	241 m <sup>2</sup>	筋力系トレーニング機器 10 台、有酸素系トレーニング機器 5 台、リラクゼーション系トレーニング機器 2 台(フリーウェイトトレーニング可)
5. 柔道場	235 m <sup>2</sup>	畳 105 畳、指導員室
6. 剣道場	327 m <sup>2</sup>	床板張り、指導員室
7. 弓道場	140 m <sup>2</sup>	洋弓 5 的、和弓 5 的
8. 相撲場	(屋外)	土俵(屋根付)、足洗い場
9. エア・ライフル場	95 m <sup>2</sup>	エア・ライフル 6 射座
10. ローラースケート場	1,950 m <sup>2</sup> (屋外)	1 周 100m リンク

出所：練馬区ホームページ



(2) 現在の総合体育館の施設利用状況

①利用者の状況

総合体育館の平成 21 年度における年間利用者数は 156,670 人で、トレーニング室の 11,725 人と会議室の 4,378 人とあわせて、172,773 人の利用があり、近年の利用者数の推移は増加傾向にあります。

利用者は団体が 7 割、個人が 3 割で、団体利用の約半数が生涯学習団体、個人利用の 6 割弱が小中学生の利用となっています。

参考) 利用状況の詳細

■利用者の属性

- 個人利用者と団体利用者を比較すると、一般種目の諸室の利用者は、個人利用者が約 3 割、団体利用者が約 7 割で、団体利用が中心となっています。
- 利用者の属性については、個人利用の一般種目では、「小・中学生」の割合が 6 割弱

を占めており、団体利用では、生涯学習団体が約半数、区事業及び区民大会等が約 2 割、練馬区体育協会加盟団体等が約 2 割、総合型地域スポーツクラブが 1 割弱となっています。

■利用者の種目

- 個人利用では、卓球、ローラースケート、バドミントン、バスケットボールの利用が多くなっています。
- 団体利用では、生涯学習団体はバドミントン、総合型地域スポーツクラブは剣道、区事業及び区民大会等や練馬区体育協会加盟団体等ではバレーボール、バドミントン、バスケットボールが多くなっています。

出所：練馬区立総合体育館改築に関する基礎調査から作成

②スポーツ教室の実施状況

総合体育館において、平成 21 年度に開催されたスポーツ教室は、全 13 種目、94 回になります。

③大会の開催状況

総合体育館において、平成 21 年度に区主催の大会は、「練馬区民体育大会」、「女性スポーツ大会」、「城北 5 区親善競技大会」の 3 大会が開催され、延べ 15 種目が実施されています。

## 2 総合体育館の課題

「1 総合体育館の現状」のとおり、総合体育館は区民に多く利用されている施設ですが、スポーツや健康といった意識の高まりからも、新しい総合体育館への期待は大きく、多様な区民のニーズに応じていく必要があります。

具体的には、プールやランニングコースといった新たな種目への対応や、大規模な大会等を想定したメインアリーナの充実、飲食できる機能、様々な区民ニーズをふまえたスポーツ教室の運営、快適にスポーツができる施設・設備の水準などが求められています。

また、総合体育館の整備・運営者側における課題としては、公共施設としての役割・機能を果たし、区民にとって利用しやすいサービスを確保しつつも、厳しい財政状況等に鑑み、効率的・経済的な整備・運営が求められます。

### 参考 1) 利用者からみた課題・ニーズ

「練馬区総合体育館改築に関する基礎調査（平成 22 年度）」にて行われたアンケート調査より、利用者からみた課題・ニーズは以下のようにまとめられます。

#### ■個人利用者からみた課題・ニーズ

- **種目への対応**…プールの新設、トレーニングルームの充実に対するニーズが高く、また和弓・アーチェリー、卓球場などへのニーズもみられます。
- **付帯施設・付帯サービス**…今後、新たに整備してほしい付帯施設としてはレストラン・カフェやお弁当が食べられるスペースといった、飲食コーナーへのニーズが高くなっています。その他、交流・休憩スペースや託児スペースやキッズスペースなどのニーズもあります。
- **スポーツ教室**…スポーツ教室に対する利用意向は多いものの、現状の開催時間帯では参加できる利用者が限られるといった現状です。その他、ニーズの高い種目の設置、子供と一緒に参加できる教室などの多様なニーズがあります。
- **立地**…総合体育館を利用しない理由としては、家や学校、会社から遠いこと、駅から遠いことなど、アクセス面が主要な要因となっており、シャトルバス等の交通手段の提供や駐車場の利用しやすさ（スペースや料金）が求められています。

#### ■団体利用者からみた課題・ニーズ

- **種目への対応**…プール、ランニングコースの新設に対するニーズが高く、フットサルコートなどへのニーズもみられます。
- **付帯施設・付帯サービス**…個人利用者と同様に、今後、新たに整備してほしい付帯施設としてはレストラン・カフェやお弁当が食べられるスペースといった、飲食コーナーへのニーズが高く、また大会時のお弁当販売といったニーズもみられます。

- **施設・設備のハード面**…現総合体育館に対しては、施設の暗さ、施設・設備の古さ、メインアリーナ・観客席の規模、サブアリーナの不足、バリアフリー対応の不十分さ等への不満が挙げられています。
- **立地**…個人利用者と同様に、交通アクセスの悪さへの不満が挙げられています。

## 参考2) 整備・運営側からみた課題・ニーズ

### ■ 公共施設としての役割・機能

- **総合体育館**…民間施設では対応できない役割・機能を補完するため、特に総合体育館においては、グループ・団体での利用、アリーナの設置、障害者等にも利用しやすい設備、スポーツ観戦ができる施設等を備える必要があります。
- **他施設との連携**…他の区立体育館等と連携した様々な事業展開をはじめ、国・都のスポーツ施設と連携し「みるスポーツ」等において役割分担を行う必要があります。

### ■ サービスの質の向上

- **利用者の安全確保**…施設内での事故防止のためハード、ソフト面の工夫を行い、徹底した安全対策が求められます。
- **利用促進**…多くの区民が快適に利用することができるよう、様々な取り組み（空調設備の導入、利用規定の緩和、広報宣伝の徹底等）を行っていく必要があります。

### ■ 支出の削減と収入の拡大

- **効率化**…将来的な区の厳しい財政状況等に鑑み、整備コスト、維持管理コスト、運営コスト等を必要最低限に抑えていく必要があります。
- **収入の拡大**…利用者の拡大や効率的な運営等により十分な収入を確保できるよう、運営方法を工夫する必要があります。